

カッティングドライバを使ったIllustrator (CS以降)からの簡易的な出力方法

For NewDriver

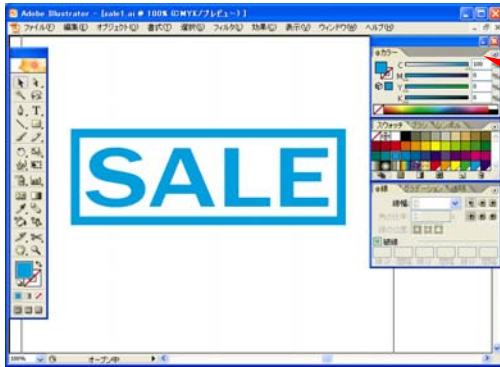
ここではWindowsドライバを使ってIllustrator (CS以降)から初めてカッティングを製作される方でも簡単に出力できる操作方法について説明いたします。

作業の流れとしては最初にWindowsドライバでカッティング出力するために必要なデータの加工を行い、次にIllustrator上で各種出力設定を行います。

なお使用例として“Windows XP”上の“Illustrator CS2”から“SV-8”への出力方法を紹介していますが、他のカッティングマシンや“他のIllustratorバージョン”、またWindows 7/Vistaとの組み合わせでも利用可能です。

1. カッティング用データへの加工

1) 出力するデータを開きます。

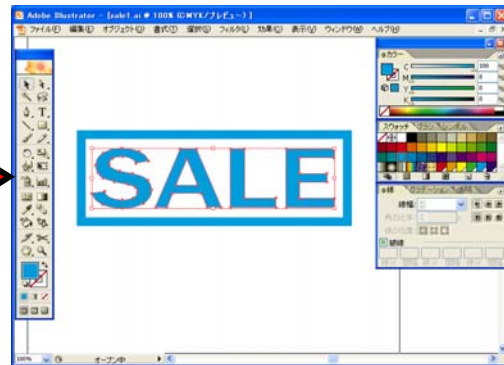
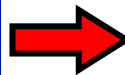


★アートボードの枠外にあるデータはアートボードの枠内に移動して下さい。



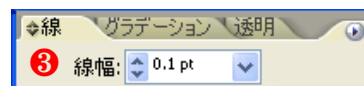
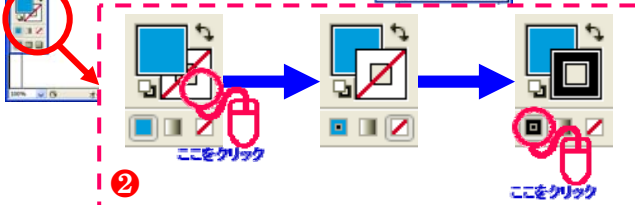
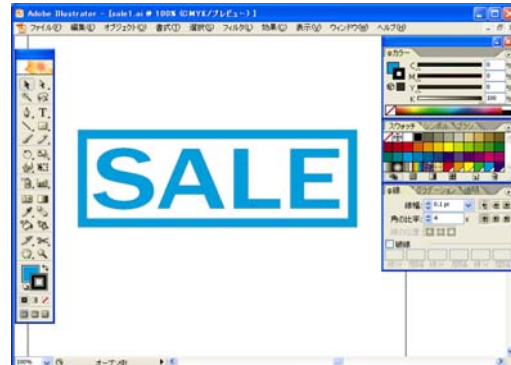
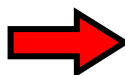
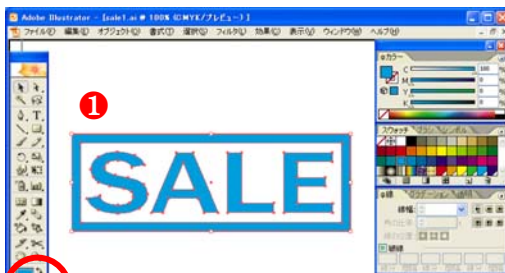
2) 文字をアウトライン化します。

- ① 文字部分を選択して、選択した状態でマウスの右ボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
- ② [アウトラインを作成]をクリックして文字をパス(線)データに変換します。



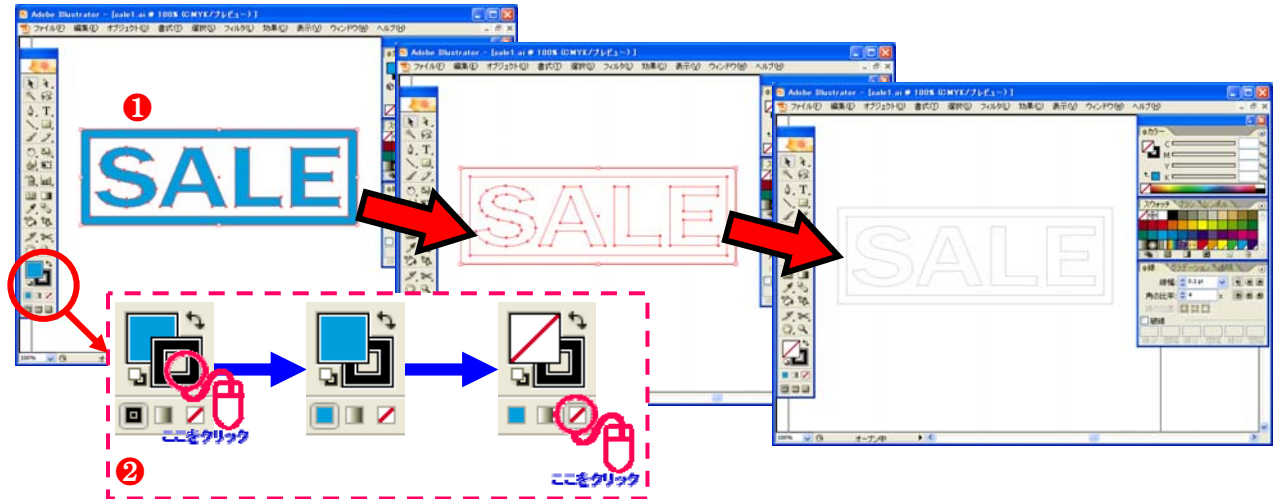
3) すべてのオブジェクトにパス(線)を与えてパスの線幅を0.1ptにします

- ① 画面上にあるすべてのオブジェクトを選択します。
- ② ツールボックス下部にある「塗りと線のコントロール」を操作してすべてのオブジェクトに任意の色のパスを与えます。
- ③ パスの線幅を[0.1pt]と入力します。



4) すべてのオブジェクトの「塗り」をなしにします。

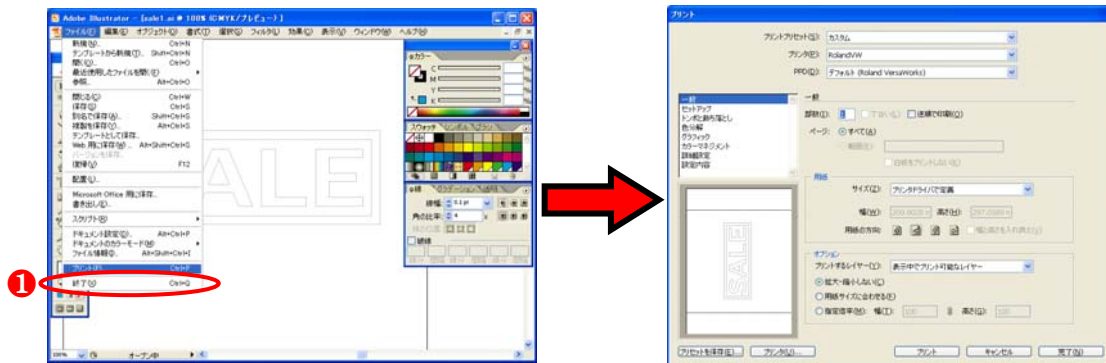
- 1) 画面上にあるすべてのオブジェクトを選択します。
- 2) ツールボックス下部にある「塗りと線のコントロール」を使用してすべてのオブジェクトの「塗り」をなしにします。



2. 出力設定

1) プリントドライバを切り替えます。

- 1) [ファイル]のプルダウンメニューから[プリント]をクリックして、[プリント]画面を開きます。



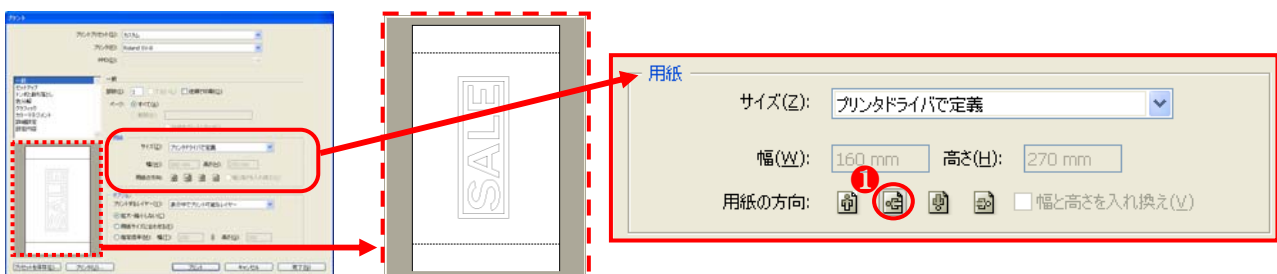
2) プリントドライバを切り替えます。

- 1) プリント画面上部にあるプリンタを選択して[Roland SV-8]に切り換えます。
- 2) 左下のプレビュー画面がプリンタドライバで設定(各ドライバ毎の初期値)された領域表示します。
- 3) [用紙:サイズ]と[オプション:プリントするレイヤー]の設定を確認します。

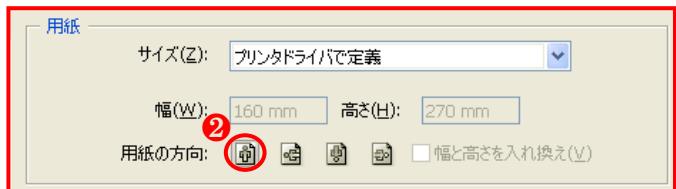


3) 配置を変更します

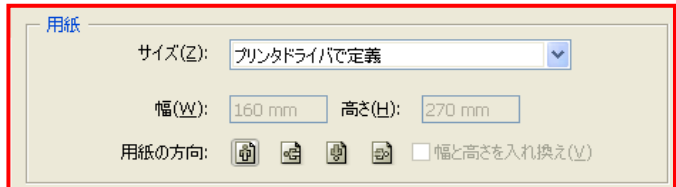
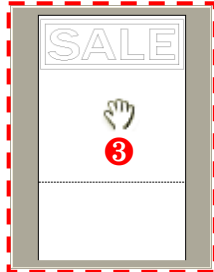
- 1) プレビュー画面では枠内に納まっていますが、用紙の無駄をなくするために横向きのデータを再配置します。



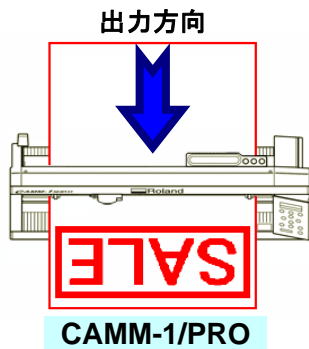
- ② [用紙の方向]の一番左にあるマークをクリックして[用紙の方向]を「縦」に変更します。



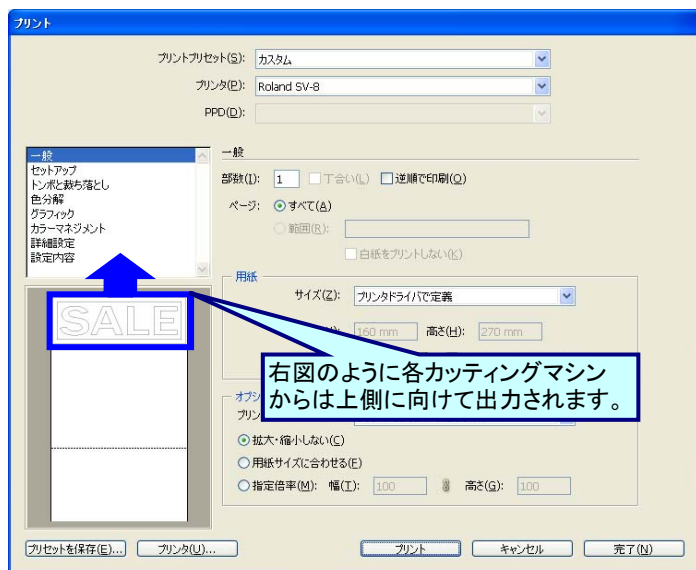
- ③ プレビュー画面にマウスのポインタを置くと[手のひらツール]になります。任意の場所でクリックしたまま、マウスを動かして左上を原点にデータを移動させます。



★Illustrator のプレビュー画面とカッティングマシンの出力方向について



プレビュー画面左上を原点にデータを配置すると用紙を無駄なく使用することができます。

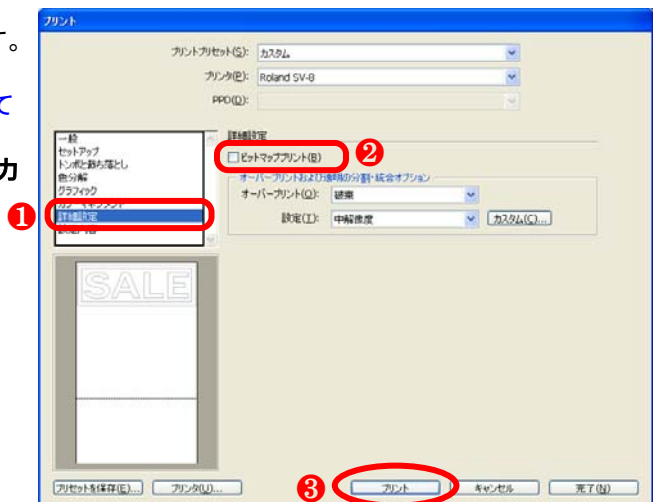


- 4) 詳細設定を行い、出力を開始します。

- ① [プリント]画面の左側にある[詳細設定]をクリックします。

- ② [詳細設定]にある[ビットマッププリント]がチェックされていないことを確認します。

- ③ [プリント]画面下側にある[プリント]をクリックすると出力を開始します



＜出力範囲を変更する方法について＞

ここまで説明した簡易的な操作方法では出力範囲を設定することはできません。出力範囲が足りない場合は以下の手順に従ってお使いのドライバーのプロパティの設定を変更してください。

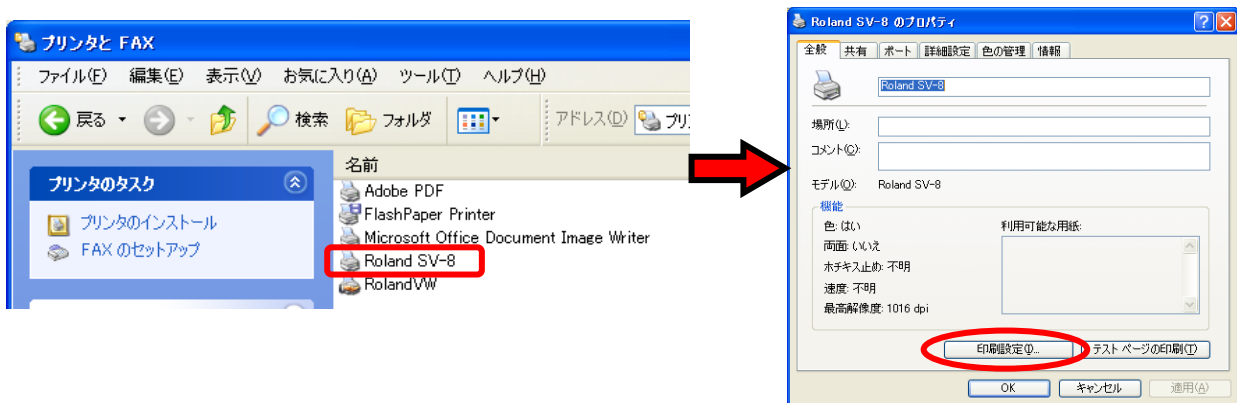
なおIllustratorを起動した状態でもこの手順は実行可能です。

★毎回、出力範囲を変更される方は「カッティングドライバを使ったIllustrator(OS以降)からの標準的な出力方法」をご覧ください。

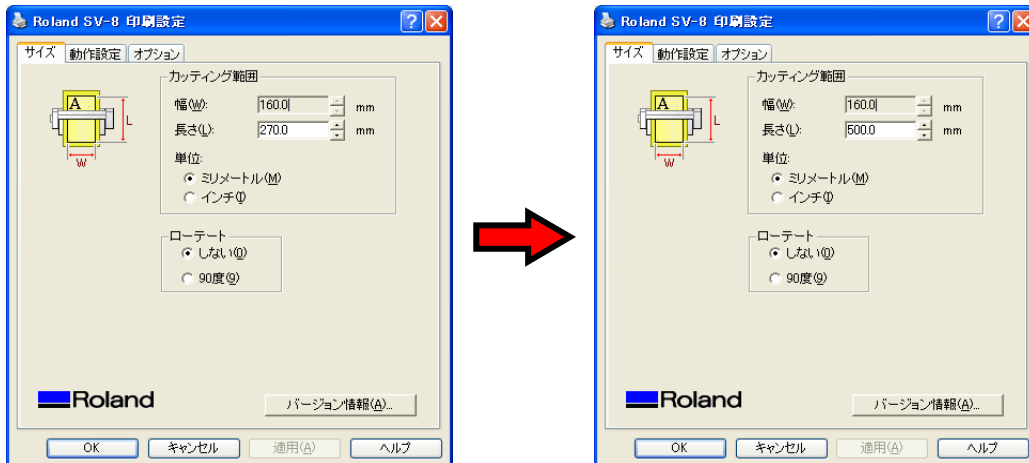
- ① 「スタートメニュー」から「コントロールパネル」を開き、「プリンタとFAX」をクリックすると「プリンタドライバーの一覧」が表示されます。



- ② [Roland SV-8]を選択してマウスの右ボタンをクリックして[プロパティ]を開き、[印刷設定]をクリックします。



- ③ 全般にある[印刷設定]をクリックすると[Roland SV-8 印刷設定]画面が表示されます。「カッティング範囲」を入力します。ここでは長さを[270mm]から[500mm]に変更します。



※STIKAシリーズの[幅]は機種ごとに固定されています。ただしSX-15/SV-15は幅を2種類選択することができます。(250mm or 340mm)

- ④ [OK]ボタンをクリックして各ウィンドウを閉じれば設定完了です。
- ⑤ Illustratorの[プリント]画面を開いて[用紙:高さ]が変更されていることを確認してから、「2. 出力設定」に戻ります。

